

ティー&フード大学、国際医療看護福祉大学校、新潟デザイン専門

●王な就職先 (47名)

坂下電子光学、会津日本無線、東北シモン会津工場、美里建設工業、曙酒造、ヒメジ理化、丸果会津青果、オノ・セミコンダクター会津、江川建設工業、ヨーラベニマル、生活協同組合コープあいづ、関東ダイエツトエッグ、ニプロファーマ、会津天宝醸造、医療法人社団平成会、ゼネラルフィットネス

全生徒の主な出身中学校 (5年度) (内新入生数)

一、坂下中学校49名(5) 二、若松五中学校26名(17)

三、新鶴中学校14名(7) 四、若松四中学校17名(8)

五、高田中学校12名(2) 六、一箕中学校11名(4)

六、北会津中学校11名(5) 六、柳津学園11名(4)

九、若松一中学校10名(6) 十、河東学園9名(4)

■学校をとりまく環境

会津磐梯山を仰ぐ会津盆地の西部に位置し、宿場町として栄えたところであり、名物行事の初市大俵引きは有名である。また、米どころでもあり、本校でも約5ヘクタールの水田を持っており会津坂下町からの期待も大きい。

東北地方の歴史の黎明と称される「杵が森古墳」の発掘が進む会津坂下町に、明治40年に設立され、地元や周辺町村など幾多有為の人材を送り出している。

■エポック

平4299-11 喜多方市山都町字上ノ山

校章  
○沿革  
産業技術科  
二年 一四 三年 一九  
二年 一八 三年 二〇



生徒数 71 (男子 36、女子 35)  
教職員数 33  
校長／佐藤文男

校章の由来と校歌は本校と同じ

昭和35年 沿革  
県立山都高等学校として創立、定期制課程

昭和23年 農業科、家庭科を中心とする野沢分校、奥川分校を開設  
校名変更し、県立耶麻高等学校となる 山都校舎を野沢校舎と称する

昭和32年 第二部を野沢校舎と称する 拓殖コース新設

昭和35年 沿革  
県立山都高等学校として創立、定期制課程

会津農林高等学校耶麻校舎  
令和5年4月より県立会津農林高等学校と統合(県立会津農林高等学校耶麻校舎となる)  
〒969-1452 喜多方市山都町字上ノ山  
平4299-11 0241-38-2018  
生徒数 71 (男子 36、女子 35)  
教職員数 33  
校長／佐藤文男



■活動の状況

野沢校舎、奥川分校を分離し両者をもつて西会津高校とする  
畜産実習室落成  
柔道道場落成  
体育館落成  
校名変更、県立耶麻農業高等学校となる  
立会津農林高等学校耶麻校舎となる  
4月より県立会津農林高等学校と統合、県立会津農林高等学校耶麻校舎となる

昭和39年 野沢校舎、奥川分校を分離し両者をもつて西会津高校とする  
畜産実習室落成  
柔道道場落成  
体育館落成  
校名変更、県立耶麻農業高等学校となる  
立会津農林高等学校耶麻校舎となる  
4月より県立会津農林高等学校と統合、県立会津農林高等学校耶麻校舎となる

■行事

産業技術科  
二年 一七八、六年 一九二・一八四m<sup>2</sup>  
校地面積

■施設

建物面積

行事件

校風

校訓

「誠実・勤勉・力行」をモットーに、地域社会と連携し地域に根ざした教育をすすめ、特色ある学校づくりを推進している。

陸上、テニス、ボート、バスケットボール、卓球、バドミントン、グリーンメイキング、ホームメイキング

●活動状況 (県総体優勝) ボートKF男3回、女15回  
○全国大会(インターハイ) ボート女子ナックル優勝(昭34)、2位(昭32、44)、団体優勝KF5回(令和4年度)  
○全国家庭クラブ連盟研究発表大会山形大会1位・文部科学大臣賞、東北ブロック家庭クラブ連盟研究発表大会ホームプロジェクトの部1位(令和5年度全大会出場)  
○農業クラブ(県高校連盟意見研究発表大会意見発表野Ⅲ類最優秀(東北大会出場)、東北高校連盟意見研究発表大会意見発表Ⅲ類優秀、日本学校連盟農業競技(県高校大会女子)優秀  
○陸上競技(県高校大会女子)優秀  
農業競技(県高校大会女子)優秀  
体女子円盤投げ8位入賞、県新人女子円盤投げ5位入賞、東北新人女子円盤投げ出場  
○第三回全国高校生そば打ち大会敢闘賞  
デミー会津(令和5年3月卒業)

●主な進学者 (人数)

名

各種専門学校 (2) = 福島県農業短期大学校、福島県立テクノアカデミー会津

進学・就職状況 (令和5年3月卒業)

名

農業

就職

81%

進学

19%

名

就職

81%